

【調査】学校の個人情報漏えいは年190件・31万人分 ― 事故の多くは"攻撃"ではなく"設定と運用"教員が5分でできる「いじめ・配慮事項情報の漏えいリスク チェックリスト(15項目)」を無料公開

EDIX 大阪 2026

2026年 10月13日(火)～15日(木)
グランキューブ大阪

ブース番号
10階 ST16

いじめ・配慮事項情報の 漏えいリスク チェックシート

Google Workspace を使う学校で起きやすい
15項目・5分で自己点検

ブース来場者限定

チェックシートを **無料配布!**

共有設定の
見直しをサポート

アカウント管理を
カンタンに

Classroomの
安全な運用を支援

チェック・レポートで
リスクを可視化

Google Workspaceのファイル共有を可視化・自動管理する「DriveChecker」を提供するDriveChecker株式会社(本社:大阪市西区)は、学校向けに「いじめ・配慮事項情報の漏えいリスク チェックリスト(15項目)」を作成し、2026年10月13日(火)～15日(木)にグランキューブ大阪で開催される教育総合展「EDIX 2026 大阪」のブースで配布します。公的な調査で学校・教育機関の個人情報漏えい事故が年間190件・延べ31万人分に上るなか、「不正アクセスへの対策」より先に「日常の共有設定と運用」を点検できるようにすることが目的です。

■ 背景:学校の漏えい事故は年190件、1件あたり1,642人分

一般社団法人AIイノベーション&次世代教育ネットワーク(AISEN)が2026年6月16日に公表した「令和7年度 学校・教育機関における個人情報漏えい事故の発生状況調査報告書(第1版)」によると、2025年度(2025年4月～2026年3月)に公表された学校・教育機関の個人情報漏えい事故は190件、漏えいした個人情報は延べ311,889人分で、1件あたり平均1,642人分でした(出典:同報告書)。漏えい人数が1,000人以上の事故が18件ある一方で、1～9人の事故が41件と最も多く、「大規模な攻撃」だけでなく「小さなうっかり」が積み重なっている実態がうかがえます。同報告書では、漏えい人数の多い経路として「システム・サーバー」が挙げられ、月別で

は新年度の4～5月に事故が集中しています(出典:同報告書、こどもとIT 2026年6月報道)。

■ 学校特有の"設定と運用"の落とし穴

Google Workspace for Educationを使う学校では、次のような状態が「事故が起きるまで気づかれない」ことが少なくありません(当社が教育機関・企業の共有設定を支援してきた経験にもとづく整理)。

- ・「リンクを知っている全員」で共有されたままの成績・進路のファイル
 - ・担任交代や異動のあとも、前の担当者に残ったままの共有権限
 - ・退職した教員のアカウントに残った、生徒への配慮事項のメモ
 - ・Google Classroomで配布した課題のコピーが、教員側では回収・共有停止できない場合があること
- いずれも不正アクセスではなく、日常の設定と運用の"うっかり"から起きます。2026年9月に公表された大阪高等裁判所のMicrosoft Teams誤登録(約6,000アカウント)のように、宛先の設定を1つ誤るだけで数千人に通知と閲覧権が広がる構造は、クラウドの共有機能に共通しています。

■ チェックリストの内容(15項目・4分類)

A. 共有設定 — だれに見えているか(5項目)/B. アカウントと異動・退職 — だれが持っているか(4項目)/C. Google Classroomの運用(3項目)/D. 組織のルールと確認体制(3項目)。各項目にYes/Noを付け、Noの数で「0～2個:基本は整っている」「3～6個:うっかりが起きる余地がある」「7個以上:漏えいが起きても気づけない可能性がある」の3段階で判定します。5分で自己点検でき、点検の頻度(学期に1回など)を決めるきっかけとして使えます。

■ 入手方法

EDIX 2026 大阪(2026年10月13日～15日、グランキューブ大阪、小間番号10階 ST16)のDriveCheckerブースで配布します。ご来場が難しい学校・教育委員会の方には、メール(support@drivechecker.co.jp)でお申し出いただければPDFをお送りします。

■ 対策:点検を「人の善意」から「仕組み」へ

チェックリストのA～Cを自動化するものとして、教育機関向け製品「[ClassroomChecker](#)」をEDIXでデモ展示します。AIが学校特有の機密データ(いじめ報告・配慮事項など)の傾向を学習して検知ルールを提案し、「誰が誰に共有してよいか」の方針から外れた共有を自動で見つけて止めるほか、教員の異動・退職時の教材引き継ぎ

やGoogle Classroomの年度更新をまとめて行います。企業向けの「DriveChecker」については
<https://drivechecker.co.jp/> をご覧ください。

■ **DriveChecker**株式会社について

Google Workspaceのファイル共有を可視化・自動管理する「DriveChecker」を提供。契約ユーザー数3万人以上(2026年7月時点)。

会社URL:<https://drivechecker.co.jp/>

■ 本件に関するお問い合わせ

DriveChecker株式会社

広報担当 E-mail:support@drivechecker.co.jp